

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0013)
FastGene™ RNA ベーシック/プレミアム・キット (洗浄バッファー1:RW1)

初回作成日: 2017年5月12日
前回改訂日: 一年一月一日
最新改訂日: 2023年11月30日
版番号: 第2版

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学品の名称

製品名	FastGene™ RNA ベーシック/プレミアム・キット (洗浄バッファー1:RW1) FastGene™ RNA Basic Kit / Premium Kit (Wash Buffer 1:RW1)
製品番号	FastGene™ RNA Basic Kit (FG-80006、FG-80050、FG-80250) FastGene™ RNA Premium Kit (FG-81006、FG-81050、FG-81250)

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細




製造元の会社情報	NIPPON GENETICS EUROPE GmbH Mariaweilerstraße 28-30, D-52349 Düren, Germany
供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号: 03-3813-0961 ファックス番号: 03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール: info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品のGHS*分類

危険有害性項目	危険有害性区分(細区分)
物理化学的危険性	
引火性液体	区分: 2
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分: 4
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	区分: 2
発がん性	区分: 1A
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分: 2
環境に対する有害性	GHS*分類基準に該当しない。

2.2 GHS*ラベル要素

絵表示又はシンボル	   GHS02 GHS07 GHS08
注意喚起語	危険

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0013)
FastGene™ RNA ベーシック/プレミアム・キット (洗浄バッファー1:RW1)

危険有害性情報	
物理的危険性	H225: 引火性の高い液体及び蒸気
健康有害性	H302: 飲み込むと有害
	H319: 強い眼刺激
	H350: 発がんのおそれ
	H373: 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ
環境有害性	環境有害性のある物質又は混合物ではない。
注意書き	
一般的な注意書き	特になし
安全対策	P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
	P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
	P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
	P233: 容器を密閉しておくこと。
	P240: 容器を接地しアースをとること。
	P241: 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
	P242: 火花を発生させない工具を使用すること。
	P243: 静電気放電に対する措置を講ずること。
	P260: 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
	P264: 取扱後は、手をよく洗うこと。
	P270: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。	
応急措置	P301+P312: 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
	P303+P361+P353: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水/シャワーで洗うこと。
	P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P308+P313: 暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
	P314: 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。
	P330: 口をすすぐこと。
	P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
	P370+P378: 火災の場合: 消火するために、水噴霧、耐アルコール性泡消火器、粉末消火剤、二酸化炭素消火剤を使用すること。
保管	P403+P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しい所に置くこと。
	P405: 施錠して保管すること。
廃棄	P501: 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。

2.3 GHS*分類に該当しない、又は GHS*で扱われない他の危険有害性

NFPA*の表示システム(0-4)	H(健康危険性): 一、F(燃焼危険性): 一、R(反応危険性): 一、特定の危険: 一
HMIS*の表示システム(0-4)	健康障害の危険: 一、火災の危険: 一、反応性: 一、特定の危険: 一

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別 : 混合物

3.2 化学名又は一般名

	化学名	CAS* 番号	濃度
①	エタノール/エチルアルコール (Ethanol/Ethyl alcohol)	64-17-5	5~10%
②	グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	593-84-0	5~10%
注	濃度が範囲として表示されている場合: 組成の正確な濃度は、企業秘密として非公開が認められています。		
意	残りの成分は、非危険有害性物質であると見なされ、開示義務の限度を下回る量で存在します。		

4. 応急措置

4.1 応急措置

一般情報	医師の診察/手当てを受けること。 この安全データシート(SDS)を担当の医師に見せること。
暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、安静にして暖かく保つこと。 呼吸していない場合は、人工呼吸を行うこと。 医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	石鹸と大量の水で洗い流すこと。 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	少なくとも 15 分間は大量の水で十分に洗浄し、医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	意識のない人には決して口から何かを与えないこと。 水で口をすすぐこと。 医師の診察/手当てを受けること。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

急性症状	項目 2.2 及び、項目 11 を参照のこと。
遅発性症状	同上

4.3 医師の緊急な診察及び特別な治療が必要な場合の兆候

特別な治療	データなし
-------	-------

4.4 その他の情報 : 特になし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	小規模火災: 水噴霧、耐アルコール性泡消火器、粉末消火剤、二酸化炭素消火剤 大火災の場合: データなし
安全上の理由からの不適切な消火剤	データなし

5.2 火災時特有の危険有害性

消火活動中の特定の危険性	窒素酸化物、塩化水素ガス
有害燃焼副産物	データなし

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0013)
FastGene™ RNA ベーシック/プレミアム・キット (洗浄バッファー1:RW1)

5.3 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護	必要に応じて消火活動用の自給式呼吸器を着用すること。
予防措置	データなし

5.4 その他の情報 : 特になし

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項	粉塵の形成を避けること。
	蒸気、霧、ガスを吸入しないようにすること。
	十分な換気を確保すること。
	粉塵を吸い込まないようにすること。
保護具	個人用保護具を着用すること。
	個人の保護については、項目 8 を参照すること。
緊急時措置	データなし

6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	安全であれば、更なる漏出や流出を防ぐこと。
	製品を排水路に排出しない様にする事。
	製品が環境中に直接排出されない様に注意すること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法と機材

封じ込め方法	データなし
浄化方法	粉塵を発生させずに回収して処分すること。
	掃き掃除して回収すること。
	廃棄する場合は、適切な密閉容器に保管して行くこと。

6.4 その他の情報 : 特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

火災及び爆発の予防	データなし
安全取扱注意事項	眼、皮膚、衣類との接触を避けること。
	粉塵やエアロゾルの発生を避けること。
	粉塵が発生する場所では適切な排気換気を行うこと。
	注意事項の詳細については、項目 2.2 を参照すること。
衛生対策	取り扱い後は、手をよく洗うこと。

7.2 保管

安全な保管条件	直射日光を避けて冷暗所に保管すること。
	容器をしっかりと密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管すること。
混触危険物質との分離	項目 10 を参照のこと。
保管条件に関する詳細情報	特になし

7.3 その他の情報 : 特定の最終用途は、項目 1.2 を参照のこと。

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

8.1 制御パラメータ

職業暴露限界	データなし
ACGIH*暴露限界	データなし
生物学的暴露規制	データなし

8.2 暴露制御

適切な工学的制御	適切な労働衛生及び安全慣行に従って取り扱うこと。 休憩前と勤務時間終了時には手を洗うこと。
個人用保護具	
呼吸用保護具	国家規格に基づいて試験され、承認されたマスクとコンポーネントを使用すること。
眼及び/又は顔面の保護具	国家規格に基づいて試験され、承認された耐薬品性の眼と顔面の保護具を着用すること。
手の保護具	国家規格に基づいて試験され、承認された適切な耐薬品性手袋を着用すること。 手袋は使用前に検査する必要がある。 本製品が皮膚に接触しない様に、手袋の外面に触れない適切な取り外し方法を実施すること。 使用済みの手袋は、関連する規制及び GLP* 基準に従って廃棄すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な耐薬品性の衣服を着用すること。

8.3 特別な注意事項 : 特になし

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

外観(物理的状態)	液体
色	無色
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
pH(25°C)	7
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
蒸気圧	データなし
可燃性(液体)	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
蒸発速度	データなし
蒸発速度(固体/液体)	データなし
燃焼速度	データなし
爆発範囲の上限/可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値	データなし
相対蒸気密度	データなし
相対密度	データなし
密度	データなし
溶解度(水溶性、20°C)	データなし
溶解度(他の溶媒への溶解度)	データなし
n-オクタノール/水分分配係数(log 値)	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性係数)	データなし
動粘度(動粘性係数)	データなし

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0013)
FastGene™ RNA ベーシック/プレミアム・キット (洗浄バッファー1:RW1)

爆発性	データなし
酸化特性	データなし
粒径	データなし
分子量	データなし

9.2 その他の情報 : 特になし

10. 安定性及び反応性

反応性	推奨される保管条件下で安定
化学的安定性	推奨される保管条件下で安定
危険有害反応の可能性	データなし
避けるべき条件	熱、火花
混触危険物質	強酸化剤、還元性物質、強塩基、強酸、金属
危険有害性のある分解生成物	火災の場合: 項目 5 を参照のこと。
その他の情報	データなし

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

急性毒性	OECD* 毒性試験ガイドライン	急性毒性推定値
	急性毒性試験(急性経口毒性試験: -) 動物種: ラット	LD ₅₀ * : 1,650 mg/kg 備考: -
	急性毒性試験(急性経皮毒性試験: -) 動物種: -	LD ₅₀ * : データなし 備考: -
	急性毒性試験(急性吸入毒性試験: -) 動物種: -	LC ₅₀ * : データなし 備考: -
皮膚腐食性/皮膚刺激性	データなし	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし	
呼吸器感作性	発生しない	
皮膚感作性	データなし	
生殖細胞変異原性	データなし	
発がん性	0.1%以上のレベルで存在する本製品の成分は、IARC*によってヒト発がん性の可能性がある、又は確認されているものとして特定されていない。	
生殖毒性	データなし	
特定標的臓器毒性(単回暴露)	呼吸器系に刺激を与える。	
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし	
誤嚥有害性(吸引性呼吸器有害性)	呼吸器系に刺激を与える。	

11.2 可能性のある暴露経路の情報

飲み込んだ場合	データなし
皮膚に付着した場合	データなし
眼に入った場合	データなし
吸入した場合	刺激を引き起こす可能性がある。

11.3 その他の情報 : 特になし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

生体毒性	生態影響試験	毒性推定値
短期間(急性)水生有害性	藻類生長阻害試験 ・試験法: -、試験対象生物: -、曝露時間: -	LC ₅₀ *: データなし NOEC*: データなし
	オオミジンコ類急性遊泳阻害試験 ・試験法: -、試験対象生物: -、曝露時間: -	EC ₅₀ *: データなし
	魚類急性毒性試験 ・試験法: -、試験対象生物: -、曝露時間: -	LC ₅₀ *: データなし
長期間(慢性)水生有害性	オオミジンコ繁殖試験 ・試験法: -、試験対象生物: -、曝露時間: -	EC ₅₀ *: データなし NOEC*: データなし
	魚類延長毒性試験 ・試験法: -、試験対象生物: -、曝露時間: -	LC ₅₀ *: データなし NOEC*: データなし
	魚類の初期生活段階毒性試験 ・試験法: -、試験対象生物: -、曝露時間: -	LOEC*: データなし NOEC*: データなし
	底質添加によるユスリカ毒性試験 ・試験法: -、試験対象生物: -、曝露時間: -	EC ₅₀ *: データなし LOEC*: データなし NOEC*: データなし

12.2 残留性・分解性

残留性	データなし	
分解性	易生分解性試験(淡水系) ・試験法: -	生分解性: データなし
	急速生分解性試験 ・試験法: -	生分解性: データなし
	急速分解性の指標 ・BOD*(5日間)/COD*比	急速分解性: データなし
	非生物的分解性	データなし

12.3 生物蓄積性

生物蓄積性	魚類での生物蓄積性: 水暴露法及び餌料投与方法 ・試験法: OECD*テストガイドライン(TG305)	BCF*: データなし BMF*: データなし BAF*: データなし
	オクタノール/水分分配係数測定試験 ・フラスコ振盪法: OECD*テストガイドライン(TG107) ・HPLC法: OECD*テストガイドライン(TG117) ・緩慢攪拌法: OECD*テストガイドライン(TG123)	log Kow*: データなし log Pow*: データなし log Pow/log Kow*: データなし

12.4 土壌中の移動性

吸着試験	データなし
浸出試験	データなし
Log Koc(土壌吸着係数)	データなし

12.5 他の有害影響

PBT*及びvPvB*評価結果:	データなし
オゾン層への有害性	データなし
光化学的オゾン発生の可能性	データなし
内分泌かく乱の可能性	データなし
地球温暖化の可能性	データなし

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0013)
FastGene™ RNA ベーシック/プレミアム・キット (洗浄バッファー1:RW1)

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品及び残余廃棄物	環境への放出を避けること。
	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
	完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処分すること。
	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

13.2 その他の情報 : 特になし

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

国連番号 (UN Number)	輸送規制の対象ではない。
国連出荷正式名(国連出荷名) (UN Proper Shipping Name)	輸送規制の対象ではない。
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	輸送規制の対象ではない。
容器等級 (Packing Group)	輸送規制の対象ではない。
環境への危険性	環境上危険物として規制されていない。
ユーザー向け特別注意事項	ADR*/RID*, ADN*, IMO*/IMDG Code*, ICAO*/IATA DGR*で規制された危険物ではない。

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78* 付属書Ⅱ及びIBC Code*によるバラ積み輸送される液体物質 : 本製品には該当しない。

15. 適用法令

① エタノール/エチルアルコール(Ethanol/Ethyl alcohol, CAS*番号:64-17-5、濃度:5~10%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	危険物・引火性の物 名称等を表示すべき危険物及び有害物 名称等を通知すべき危険物及び有害物
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第4類引火性液体、アルコール類⇒濃度が60%未満のため適用除外
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	引火性液体類⇒濃度が24容量%以下のため適用除外
港湾法	その他の危険物・引火性液体類⇒濃度が24容量%以下のため適用除外
航空法	引火性液体
水質汚濁防止法	非該当

下水道法	非該当
大気汚染防止法	揮発性有機化合物
海洋汚染防止法	有害液体物質 (Z 類物質)
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法	産業廃棄物
PRTR 法	非該当
化学兵器禁止法	有機化学物質
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

② グアニジンチオシアナート(Guanidine thiocyanate、CAS*番号:593-84-0、濃度:5~10%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
港湾法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法	産業廃棄物
PRTR 法	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。本 SDS 情報は、徹底的な調査及び/または研究によって得られたものであり、推奨は専門的判断の慎重な適用に基づいています。また包括的とみなされるものではなく、ガイドとしてのみ使用されるべきものです。全ての物質及び混合物には、未知の危険性があるため注意して使用する必要があります。当社では、実際の方法、量、使用条件等を管理することができないため、本書に記載されている取扱いまたは製品との接触到起因する損害賠償責任は一切負いません。本 SDS の情報は、市場性や特定目的適合性の黙示の保証を含め、明示的にも黙示的にもいかなる保証をするものではなく、また品質を特定するものでもありません。

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0013)
FastGene™ RNA ベーシック/プレミアム・キット (洗浄バッファー1:RW1)

略語

- ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists): 米国産業衛生専門家会議
- ADN (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Inland Waterways): 危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定
- ADR (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road): 欧州危険物国際道路輸送協定(道路での危険物の国際輸送に関する欧州協定)
- BAF (Bioaccumulation Factor): 生物濃縮係数(水及び餌)
- BCF (Bioconcentration Factor): 生物濃縮係数
- BMF (Biomagnification Factor): 生物濃縮係数(餌)
- BOD (Biochemical Oxygen Demand): 生物化学的酸素要求量(排水中の有機物量の指標)
- CAS (Chemical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス
- COD (Chemical Oxygen Demand): 化学的酸素要求量
- EC₅₀ (Median/50% Effective Concentration): 成長(遊泳)阻害半数(50%)影響濃度(水生毒性)
- GHS (The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- GLP (Good Laboratory Practice): 医薬品安全性試験実施基準、優良試験所規範(基準)
- HMIS (Hazardous Materials Identification System): 危険有害物質識別システム
- IARC (International Agency for Research on Cancer): 国際がん研究機関(アイエーアールシー/アイアーク)
- IATA DGR (International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations): 国際航空運送協会危険物規則書
- IBC Code (International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ICAO (International Civil Aviation Organization): 国際民間航空機関
- IMDG Code (International Maritime Dangerous Goods Code): 国際海上危険物規程で定めたコード
- IMO (International Maritime Organization): 国際海事機構
- LC₅₀ (Lethal Concentration 50% kill, Median Lethal Concentration): 半数(50%)致死濃度
- LD₅₀ (Lethal Dose 50% kill, Median Lethal Dose): 半数(50%)致死量
- LOEC (Lowest Observed Effect Concentration): 最小影響濃度
- log Pow/log Kow (octanol/water partition coefficient as logarithm): オクタノール/水分配係数の指数値
- MARPOL (International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships) 73/78: マルポール条約/1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書("MARPOL"=marine pollution/海上汚染)
- NFPA (The National Fire Protection Association): 全米防火協会
- NOEC (No Observed Effect Concentration): 無影響濃度
- OECD (Organisation for Economic Co-operation and Development): 経済協力開発機構
- PBT (Persistent, Bioaccumulative and toxic substances): 難分解性、生物蓄積性、毒性を示す性質あるいは物質
- RID (Regulations Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Rail): 欧州危険物国際鉄道輸送規則
- vPvB (very Persistent and very Bio-accumulative) Substances: 極難分解性、極生物蓄積性を示す性質あるいは物質

引用文献及び参照ホームページ等

- JIS Z 7252: GHSに基づく化学品の分類方法
- JIS Z 7253: GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- 化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput
- ezCRIC+ (日本ケミカルデータベース株式会社)

以上